

わたしたちの樹プロジェクト

樹木説明書

福岡市環境局

目次

1	アジサイ	1
2	アラカシ	1
3	イロハモミジ	2
4	エゴノキ	2
5	オガタマ	3
6	ガクアジサイ	3
7	キンモクセイ	4
8	クチナシ	4
9	クヌギ	5
10	クロガネモチ	5
11	クロマツ	6
12	サツキツツジ	6
13	サルスベリ	7
14	ハナミズキ	7
15	ハルニレ	8
16	ヒトツバタゴ (ナンジャモンジャ)	8
17	モミジバフウ	9
18	ユーカリ	9
19	ユキヤナギ	10
20	ユズリハ	10
21	ライラック	11

1 アジサイ

分類：落葉広葉樹

花の色：白、青、むらさき、ピンク

花が咲く時期：6～7月

高さ：1～2m

生育環境：日かげでも生育可能

【特徴】

花に見えるところは、花ではなくガクという部分で、花はそのガクの中に小さく咲いています。

また、ガクの下に隠れた部分にも花があります。

「集真藍（あづさい）」藍色が集まったものがなまって「アジサイ」という名前がついたという説があります。



花の色は土のpH（酸性度）によって色が変わり、「酸性ならば青色、アルカリ性ならば赤色」になると言われています。

2 アラカシ

分類：常緑広葉樹

花：黄褐色

花が咲く時期：4～5月

高さ：5～25m

生育環境：日向を好む

【特徴】

山野に生えます。どんぐりの木の代表的な木です。秋には大きさ 1.5cm～2cm のどんぐりがなります。半分は椀型のぼうし（殻斗）をかぶっています。

枝の伸び方などの木の様子が、同じカシの仲間であるシラカシよりも荒っぽいことから「アラカシ」と呼ばれているそうです。「カシ」は木材が堅いことから「かたし」を意味しているそうです。



葉は長い楕円形で先が急にとがります。葉のふちは半分だけギザギザしています。

どんぐりのぼうしにはリング模様があり、アラカシは5～7個のリングがあります。

3 イロハモミジ

分類：落葉広葉樹

花の色：赤

花が咲く時期：4～5月

高さ：5～15m

生育環境：日向を好む

【特徴】

手のひらのような形をした、深い切れ込みの入った葉が特徴です。

葉の形がカエルの手ににていることから、別名イロハカエデといひます。



庭によく植えられます。



秋になると葉が赤く紅葉します。冬になると葉を全ておとします。



夏の初めに羽のような形をした種をつけます。種はくるくる回りながら落ちていきます。

4 エゴノキ

分類：落葉広葉樹

花の色：ピンク、白、

花が咲く時期：7～10月

高さ：5～10m

生育環境：日向を好む

【特徴】

幹はあまり太くならず、根もとから幹が何本も出てくるような木の形をしています。

その年に伸びた短い枝に、下に垂れるように白い花を1～4個咲かせます。

果実の皮にはエゴサポニンという物質が含まれていて、新鮮な果実は洗濯用の石鹸のかわりにしていました。



花は長さ1.5～2cmで花びらは5つに分かれています。



実は1～1.3cmで卵のような形をしています。実の色は白っぽい色をしています。

5 オガタマ

分類：常緑広葉樹

花の色：白

花が咲く時期：5月

高さ：5～12m

生育環境：日向を好む

【特徴】

5月ごろに白い花が咲きます。花からはバナナのような香りがすることからバナナツリーとも呼ばれています。

ミカドアゲハ(ちょう)が食物として利用しています。



神がやどる木として、よく神社にうえられています。神道思想の「招霊」から、この名前がついたとも言われています。



実は10～11月ごろなり、熟すと赤い種が出てきます。

6 ガクアジサイ

分類：落葉広葉樹

花の色：白、青、むらさき、ピンク

花が咲く時期：6～7月

高さ：1～2m

生育環境：日かげでも生育可能

【特徴】

6月から7月にかけて花がさき、花の色は土のpH(酸性度)によって色が変わり、「酸性ならば青色、アルカリ性ならば赤色」になると言われています。

花に見えるところは、花ではなくガクという部分で、花はそのガクの内側に集まって咲いています。

ふつうのアジサイと違ってガクが絵のがくぶちのように花を取り囲んでいることから「ガクアジサイ」呼ばれています。



7 キンモクセイ

分類：常緑広葉樹

花の色：オレンジ

花が咲く時期：9～10月

高さ：3～6m

生育環境：日向を好む

【特徴】

秋にオレンジ色の花が咲き、良い香りを漂わせます。排気ガスなどの汚れた空気に敏感で、空気が汚れていると花がつかなくなったり、香りが弱くなると言われています。これは葉の表面が汚れることで起こるそうです。そのため時々葉の表面を洗い流すように水をかけてあげると花がよく咲くようになります。日本には雄株しかないため、実がついたものは見られません。



枝がよく分岐するため、葉がたくさん生えます。



9～10月ごろに葉のわきに直径5mmの小さな花が葉になつてたくさん咲きます。

8 クチナシ

分類：常緑広葉樹

花の色：白

花が咲く時期：4～5月

高さ：1～3m

生育環境：西日などの直射日光を嫌う

【特徴】

暖かい土地の常緑樹林のふちなどに生えます。葉はつやつやしています。枝の先に、香りのある直径6～8cmの白い花が一つずつ咲きます。熟した実にはクロシンと呼ばれる色素を含み、染料、薬用、食品の着色料等に使われます。



枝がつまって成長するのでこんもりとしています。



秋になるとオレンジ色の実がなりますが、熟しても口が開かないため、「クチナシ」と呼ばれています。



9 クヌギ

分類：落葉広葉樹

花の色：黄色

花が咲く時期：4～5月

高さ：5～15m

生育環境：日向を好む

【特徴】

葉の形はクリの木とよく似ており、葉のふちがギザギザしているのが特徴的です。

秋になると丸い形のドングリがなります。

クヌギは幹に傷が付くとそこに樹液が染み出しカブトムシやクワガタが集まってきます。



葉のふちはギザギザしており、ギザギザの先が長くつき出ます。



ドングリは碗型のぼうし（殻斗）をがぶっています。



苗木を植えてからカブトムシやクワガタが集まるまで10年から20年かかります。

10 クロガネモチ

分類：常緑広葉樹

花の色：白紫色

花が咲く時期：5～6月

高さ：5～15m

生育環境：日かげでも生育可能

【特徴】

暖かい山野に生えます。

若い枝や葉のつけ根が黒鉄色になることから「クロガネモチ」と呼ばれたそうです。

直径4mmのとても小さな白紫色の花が咲きます。

「苦労がなく金持ちになれる」の語呂合わせで名前が縁起の良い木として知られています。



秋に5mmくらいの赤い実がたくさんつきます。

実がなると鳥が実を食べにやってきます。



樹皮はなめらかで葉はつるつるとしてきます。葉の色は濃い緑色で裏側は淡い緑色をしています。



成長は遅めです。福岡市の木に選ばれています。

11 クロマツ

分類：常緑針葉樹

花の色：—

高さ：15m

生育環境：潮風に強い

【特徴】

潮風に強い植物なので、海の近くによく植えられます。葉は針のような形をしています。秋にはまつぼっくりがなります。アカマツと比較して黒っぽい樹皮をしていることからクロマツという名前がつけました。



潮風に強いので、津波、高潮、潮風などの防止を目的として海岸に植えられることが多くあります。

4月ごろ花が咲き、2年後の秋にまつぼっくり(種)になります。

樹皮はあみめもようをしていて、ごつごつしています。

12 サツキツツジ

分類：常緑広葉樹

花の色：ピンク、白、赤

花が咲く時期：4～5月

高さ：1～3m

生育環境：日向を好む

【特徴】

公園や道路のわきによく植えられています。福岡市では7番目に多く植えられている低木です。

5月は日本の月の呼び名で「皐月」と呼び、5月ごろ花を咲かせることからサツキツツジという名がつけました。



花には甘い蜜があり、蜜を吸いにちょうなどの昆虫が集まります。

13 サルスベリ

分類：落葉広葉樹

花の色：ピンク、白、^へ紅

花が咲く時期：7～10月

高さ：3～7m

生育環境：日向を好む

【特徴】

ツルツルした幹が特徴的でサルもすべってしまうといういわれがあり「サルスベリ」と名付けられました。花は夏～秋にかけて咲き、花が咲く期間が長く100日赤い花を咲かせることから漢字では百日紅（読み：サルスベリまたはハクジツコウ）と書きます。

秋には紅葉し、葉を落とします。



樹皮は「猿も滑ってしまう」といわれるほどツルツルしています。



7～10月の長い期間ピンク色の花を咲かせます。



花が咲き終わった10月頃に大きさ1～1.5cmのだ円体の実がなります。中にはたくさんの種が入っています。熟すと6つに割れて、つばさのある種が出てきます。



14 ハナミズキ

分類：落葉広葉樹

花の色：白、ピンク、赤

花が咲く時期：3～5月

高さ：4～12m

生育環境：日向を好む

【特徴】

日本がアメリカにサクラの木をプレゼントしたお返しに、このハナミズキの木がアメリカから日本へプレゼントされ日本に広まりました。

ハナミズキの花言葉は「永続性」「返礼」「私の想いを受けてください」などがあります。

上を向いた花が咲き、花が咲いたあとに赤い実がなります。



新しい葉が出てくると同時に花が咲き始めます。



花に見えるところは、苞（つぼみをつつんでいた葉）で、花はその中心にあります。



実は10月ごろ赤くなります。この実を鳥が食べにきます。

15 ハルニレ

分類：落葉広葉樹

花の色：白、ピンク、黄色

花が咲く時期：4～5月

高さ：5～15m

生育環境：日向を好む

【特徴】

春に花が咲くニレ（木の名前）であることからハルニレという名前がつけました。

シータテハやヒオドシチョウ、アカタテハ等のちょうが食物として利用しています。



花は4～5月に新しい葉が生える前に咲きます。

実は6月ごろなります。風によって自分の木から離れたところへ運ばれるために、実は羽が生えたような形をしています。

16 ヒトツバタゴ（ナンジャモンジャ）

分類：落葉広葉樹

花の色：白

花が咲く時期：～7月

高さ：5～15m

生育環境：日向を好む

【特徴】

日本では長野県、愛知県、岐阜県、長崎県対馬にだけ自生している希少種です。その地方では珍しい種類の植物を指す呼び名である「ナンジャモンジャ」と呼ばれていました。和名は「一葉のタゴ」と呼ばれています。タゴはトネリコの別名であり、トネリコは葉が複数であるのに対し、本種が葉が単体であるからです。果実は長さ1cmの楕円形で黒く熟します。



枝先に白い花をたくさんつけます。花びらは長さ1.5～2cmの細長い形をしています。

17 モミジバフウ

分類：落葉広葉樹

花の色：きみどり

花が咲く時期：4月

高さ：15m

生育環境：潮風に強い

【特徴】

葉はやや大きめで、形はモミジに似ています。秋は黄色や赤色に紅葉し、丸くとげとげした果実がなります。

原産はアメリカで、日本へは大正時代に渡来しました。

公園や道路の脇によく植えられています。



秋になると葉の色が黄色や赤色に変化し、冬になるとすべての葉を落とします。



丸くとげとげした実は、クリスマス飾りなどによく使われます。



木は円すいの形をしています。

18 ユーカリ

分類：常緑高木

花の色：青白色

花が咲く時期：6～7月

高さ：5～15m

生育環境：日向を好む

【特徴】

オーストラリアの植物で、500もの種類があります。

大きくなる種類は70mの高さまで大きくなります。

ユーカリの葉からは良い香りがします。

ユーカリの葉はコアラの食べ物として有名です。



ユーカリの葉には毒があります。コアラは、食べ物が少ない場所で生き残るために、他の生き物が食べないユーカリの葉を食べるようになりました。

19 ユキヤナギ

分類：落葉広葉樹

花の色：白

花が咲く時期：4月

高さ：1～2m

生育環境：日向を好む

【特徴】

川岸の岩場に生えていることがあります。枝をたくさん出してわさわさと茂ります。枝は細く弓のように曲がりまゝす。4月に真っ白な花を咲かせ、垂れたように曲がるのでユキヤナギと呼ばれました。花の大きさは約8mmで花びらは5枚です。岩の裂け目などに生える様から、昔は「岩柳」とも呼ばれていたようです。



春先に雪を被ったように花を咲かせます。

花が咲いた後に若い枝が出てきて、枝分かれしながら伸びます。晩秋には葉が黄色に色づいて落葉します。

20 ユズリハ

分類：常緑広葉樹

花の色：ピンク

花が咲く時期：4～5月

高さ：5～12m

生育環境：日向を好む

【特徴】

ユズリハの葉は、若い葉が生えそろうってから古い葉がいつせいに落ちて落ちることから、その様子が親(古い葉)と子(若い葉)が世代交代を繰り返して、家が続いていく(木が成長していく)というふうに見立てられ、縁起の良い木とされています。おめでたい木として古くから正月のおかざりに使われています。



ユズリハの葉の根本は赤い色をしています。上を向いたきみどり色の葉が若い葉で、下を向いた緑の葉が古い葉です。若い葉が生えそろうと古い葉は落ちて落ちます。

7月ごろからきみどり色の実がなり始め、10～11月ごろには、実が黒紫色になります。

21 ライラック

分類：落葉広葉樹

花の色：紫、赤紫、白

花が咲く時期：4～5月

高さ：5～15m

生育環境：日向を好む

【特徴】

花は小さく長さ1cmの筒のような形をしています。基本的に花びらは4つに分かれますが、たまに5つに分かれるものがあり、「ラッキーライラック」と呼びます。強い香りがあるので、香水の原料にもされます。

寒さに強いため、特に北海道でよく植えられています。

別名リラ、またはムラサキシドイと呼ばれます。



枝先から長さ10～20cmのところあわに淡い紫むらさき色の小さな花をたくさんつけます。花の色が白色の変種をシロライラックといいます。



樹皮じゅひはなめらかですが、古くなるとはがれます。